

目 次

I	学校関係者評価の概要及び実施状況	2
1.	学校関係者評価の基本方針	2
2.	学校関係者評価委員名簿	2
3.	学校関係者評価委員会の実施状況	3
4.	学校関係者評価の評価方法	4
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告書	5
	総評	5
1.	令和2年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画	6
2.	評価項目の達成及び取組状況	7
基準 1	教育理念・目的・育成人物像等	7
基準 2	学校運営	8
基準 3	教育活動	8
基準 4	教育成果	9
基準 5	学生支援	9
基準 6	教育環境	
10		
基準 7	学生の募集と受入れ	
10		
基準 8	財務	11
基準 9	法令等の遵守	11
基準 10	社会貢献	11
基準 11	国際交流	12
	総合評価（各委員のコメント）	12
III	学校関係者評価委員会議事録	13

I. 学校関係者評価の概要及び実施状況

1. 学校関係者評価の基本方針

(1)基本方針

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行う事を方針とし、実施および公表については「窪田理容美容専門学校評価実施規程」に則って実施される。

(2)目的

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価の目的は以下の通りである。

- ①自己点検評価の結果を学校関係者により評価し、自己点検評価の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者（卒業生、関係業界・団体、保護者、地域企業など）らとの連携を図り、意見を聴取し、学校運営改善を努める。

(3)実施

窪田理容美容専門学校における学校関係者委員会は以下のように年2回実施される。

- ①第1回目(10月実施)の委員会は主に、前年度の実績を評価した自己点検評価の報告を行い、委員会にて評価を実施する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容についても報告する。
- ②第2回目(3月実施)の委員会は主に、1回目で評価・意見に基づき、その内容を反映させた取組み・実績を報告する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容や次年度以降の重点的に取り組む目標・計画を報告する。

2. 学校関係者評価委員名簿

窪田理容美容専門学校の学校関係者評価委員は以下の通りである。

	氏名	所属	役職
卒業生	大平 正司	理容室 ZANGIRI	代表
関係企業・団体	五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
関係企業・団体	坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
卒業生保護者	船木 美弥子	保護者代表	

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

1 学校関係者委員会実施日時・場所

日時：令和4年3月28日（月） 16：00～17：00

場所：窪田理容美容専門学校 4階会議室

2 学校関係者評価委員会 進行状況

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 開会（挨拶、配布資料確認） | 16：00 |
| (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） | 16：00～16：05 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 16：05～16：15 |
| (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 | 16：15～17：00 |
| ①重点的取り組み項目（評価判定） | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定） | |
| ③学校運営（評価判定） | |
| ④教育活動（評価判定） | |
| ⑤教育成果（評価判定） | |
| ⑥学生支援（評価判定） | |
| ⑦教育環境（評価判定） | |
| ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定） | |
| ⑨財務（評価判定） | |
| ⑩法令等の遵守（評価判定） | |
| ⑪社会貢献（評価判定） | |
| ⑫国際交流（評価判定） | |
| 各項目の前回評価後の取り組み説明 | |
| (5) 質疑応答・意見交換 | |
| (6) 閉会 | |

4. 学校関係者評価の評価方法

本学園の自己点検・自己点検評価を重点的に取組む項目及び、11分類59項目、併せて62項目についての自己点検評価の結果を1段階から4段階の4段階評価で評価を行い、自己点検報告書にまとめる。

学校関係者委員が行う学校関係者評価は自己点検評価報告書の評価について「適切」、「不適切」の2択で評価を実施する。各項目については当日に取組みや目標及び計画についての説明を自己点検評価委員から受け、総合的に判断する。評価報告書に記載されている「総合評価結果」については、各基準の項目の平均値ではなく、各学校関係者評価委員の評価を反映させた評価結果としている。

Ⅱ. 学校関係者評価委員会 評価結果報告書

総評

今年度の窪田理容美容専門学校の自己点検評価結果を拝見し、学校全体の取り組みや目標などが記載されており、評価項目も隔々まで行き届いたものだと考えます。窪田理容美容専門学校は67年という理美容学校でも長い歴史を持ち、業界に多くの卒業生を輩出している学校ですが、今回、学校関係者評価委員会に参加して、我々、各業界や立場の異なる学校関係者評価委員の立場として評価やご意見を述べさせて頂きました。

全体的な評価としましては至って適正な学校運営・活動を実施している学校だという結論を再認識致しました。前年度に挙げられた目標や計画を全てという訳には参りませんが、着実に推し進められており、安心致しました。劇的な変化ではなく、確実に一歩ずつ前進している姿に好感が持てる次第です。まだ進捗状況としては未達成のものや計画段階にある項目もございますが、窪田理容美容専門学校が理美容業界にとって、社会的責任を果たそうという姿勢は評価に値すると思います。

本評価委員会の形式も毎回変化するのも、改善努力を行おうとしている現われだと感じ、今後も窪田理容美容専門学校と各関連業界および、卒業生や保護者など多くの関係者と連携を取り、様々な取り組みを実施し、素晴らしい学校と言われる学校づくりに期待致しております。

窪田理容美容専門学校
学校関係者評価委員会一同

1. 令和2年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画

重点項目1 職業実践専門課程に係る取組み

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・文部科学省から学校の認定が決定される事を望んでおります。
 - ・実務実習で得た結果から、モラル、主体性等人格形成にテーマを置いて改めて指導を強化するなど、フレキシブルに取り組んでいる。
 - ・企業との連携は特に時代の流れを汲むという点、把握するという点で良い取り組みで、指導の改善につながるものとして良かったと思います。
 - ・企業との連携をしっかりと精進する事。時代にあった構成を。
 - ・企業と連携をすることで、学生の意識が高まり、より実践的な知識と経験ができるので良い事。
 - ・委員会も機能していると思います。
 - ・例年通りの確に実施されている。実務実習が採用され、学生が業界の実態を把握する事ができるようになったと思います。
 - ・教育課程編成委員会の設置により、企業と学校がより連携出来る環境が出来つつある。
 - ・実施に向けた取り組みと、メンバーの選出が必要。特に教員の指導力強化。
 - ・大学課程への取り組みも望みます。
 - ・理容美容にコロナ禍の影響で、技術と共に人間的な関わりをより求められるようになっている事を踏まえ、モラル・自主性等人間力の育成を計ることに期待します。
- (提案) 教員の企業研修として連携サロンに1~2日出勤してサロンの実状を体験する。
これは、大手メーカー企業でも行っているもので、受付やヘルプを主に行っている。

重点項目2 カリキュラムの見直しとシラバスの精査

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・実務実習の成果は生徒の正しい感想をまとめてほしい。
- ・学生、教員共にシラバスを把握して行動することで目標を達成できます。常に手直しを加え、育成に活かしたい。
- ・国家試験などの取り組みは成果として表れている。カリキュラムの見直しをしていることで生徒のレベルも上がって来ているのではないのでしょうか。
- ・専門学校としてシラバスを基に学生が自らにテーマを与え研究する形式をもっと取り入れる事も

必要かと考えます。

・新しいカリキュラムになったことで、より行動が明確になり、授業がしやすくなっているのではないのでしょうか。教員が同じ目的で進めていくのはプラスですね。

・コミュニケーション能力アップの指導は必要だと思います。

・教員、事務の皆様大変で御苦労様です。

・初めてのコロナ禍において臨機応変な対応をすることが大変だったと思います。

(提案) 企業が行うマナー講習 (モラル講習) など、躰につながる学生への指導は、必要な人材となる一歩になるのでは？

・経験豊富な企業と連携で教員の質を上げていくのもありかな？と思います。

重点項目 3 教職員研修及び人員確保への取組み

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・学園の御指導力を期待します。

・適切に採用及び研修を実施し、スキルアップに取り組んでいる。

・教員研修について内容など精査したり、別途チェックする機会があると良いかと思えます。

研修を指導する人材の選出や基準の見直しも視野に入れる。教員採用は一定の成果が出ていることは喜ばしい運営の成果。

・教員自ら学ぶ姿勢と環境づくりが大切です。

・サロンの実態を見学に行くような取り組みや、よりサロンワークに近い研修ができると学生の意識も変わるし先生方もよりポジティブな授業に取り組めると思えます。

・教員の質の向上 (指導力・忍耐力・精神力)

・日々、卒業生など人材確保のために動いている。

・学生全員が平等に教育を受けるには教師の研修が不可欠になり、今後も引き続き実施されたし。

2. 評価項目の達成及び取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人物像等

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・一般社会に向けて (高校、大学等) 学園の特色を示して行くべきと思う。

・校訓に基づき育成する人物像が明確であり、また時代のニーズに応じた教育を行っている。

・美容界以外でも企業の理念教育は注目されていることで、とても大事な項目。

より分かりやすく紐解く授業があってもよいと思います。人に幸せを与えるということとは何なのか？共に幸せになろうということは、自分がどうなっていたら良いのか？など基本理念ワークなどできるとよいと思います。

・シラバスは時代に合ったことも必要。

・常に人・物・考え方・在り方に向き合っている。教員にも学生にも浸透していると思います。

・電子管理とセキュリティの構築

・授業形態がオンラインに変わり、これ迄とは異なる問題も山積されることと思いますが、創立以来の理念を基に教育目標を達成するべく努力されています。

基準 2 学校運営

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・AIでオーナー、生徒のデータをまとめて、アップしておいてほしい。

・それぞれの項目においてシステムが良く機能している。

・教育活動など SNS での公開は出来ているが、拡散力が弱い。求人先の高校や父兄などにフォローになってもらい、リツイートしてもらう取り組みも必要では？

・教育活動の情報公開はもっと動画を活用した方が、閲覧者に理解されやすい。ひいては入学希望につながると思います。

・学校運営の健全化のため新生徒数の獲得が急務と思う。

・対外的に会議が出来なく大変かと存じます。

・システムに基づき、効率的に運営されている。

基準 3 教育活動

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・教職員のレベル向上（技術を含めて）に成果が出て来ていると思う。

・教職員に対する研修等評価されることであるが、更なる努力を続けたい。

・教育活動として、知識・技術において研修後の共有とそれぞれの理解度のギャップを無くすための取り組みで学校組織の強さが出来上がっている。（内容把握度、疑問を出し合い消して行く時間を作る）レベルアップ＝底上げが必要。

・教員の授業能力向上は、模範となる動画を制作するとそのプロセスで気づきが生まれると思います。

・教員教育も営業後のクラブ活動的な短時間集中型の勉強会。外部講師や校内での技術や情報共有の場

を作れるようにすると効率よくレベルアップできると思います。

- ・常に豊富な情報・カリキュラムを促進している。
- ・対面授業からタブレット授業へ。
- ・各項目とも効率的良く成果を上げている。

基準 4 教育成果

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・成長過程の生徒の複雑な心理は、成長●●の把握もあり、考慮すべきである。
- ・実務実習を通じて職場体験をする事で、離職率を低減する効果が得られると良い。
- ・学生と企業のマッチングを就職指導する時の基準の一つとして活用されると離職率の低下につながると思います。一定のサポートは出来ていて結果にもつながっていると思います。
- ・世相によって退学理由も異なってくるでしょうが、早期の問題解決対応が大切でしょう。
- ・時代性もあり金銭的問題や病気以外での退学者は少なくなっていますよね。カウンセリングの効果がでていると思います。
- ・生徒の就職先の条件を無記名にてグラフにして希望するオーナーに記すべき。
- ・特に学生とのつながりを強くして指導されている。手厚く行っているので全てにおいて向上していると思う。
- ・店舗への面接は（向上時期も含めて）早めに願いたい。
- ・理容、美容師国家資格を始めとし、その他、多岐に渡る関連資格を多くの学生が取得していることは評価に値します。

基準 5 学生支援

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・支援状況は良いと思います。
- ・経済的支援策が多岐にわたり考えられています。就職先と返済計画を共有し、離職の一因にならないように配慮したい。
- ・近年まれにみる手厚さで支援出来ていると思います（経済的にも環境面も）。卒業してからの行き先や学校側からの TEL 又は LINE などの手段を使い、支援・協力態勢が出来上がると学生も心強いのではないのでしょうか？
- ・常に意識が向いている。卒業生への支援が確立されれば完。

・経済的に違う生徒がおり、対応が大変と思う。

(提案) 学生に対する支援は手厚く出ていると思います。もう少し卒業生本人と連絡が取れるよう手段を考えられるといいですね。就職担当専用携帯ラインを設立して学校といつでも連絡が取れるようにしたらどうですか。(就職担当または学校→管理者が学校・例えば総務部など、ライン@などを活用)

基準 6 教育環境

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・日本の気候変動が激しいため、冷暖房にて教室の勉強環境を整えておいて欲しい。

・学生が自分の生き方、考え方、性格に合う職場を選ぶ基準を実感する為に、インターンシップ制はとても良い制度だと思います。

・企業との連携は大切だが、環境面では十分に取り組み成果を出している。整備も十分である。

・コロナ対策の為、インターンシップの日数を少なくして実施が望ましい。

・十分な対策を練っているのだから、コロナにも対策できている。インターンシップは評価基準をCO段階細分化することで見えてくるものがあると思います。

・施設設備は外部から見ても素晴らしいと思います。子供を預ける親も環境への取り組みに嬉しいはず十分に出来ていると思います。

・新型コロナウイルス感染対策では学校の負担も増加していると思いますが、学生の安心安全な学舎の為に頑張ってください。

基準 7 学生の募集と受入れ

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・早めに入学内定を示しておいてほしい。

・SNS、YouTubeなど動画で多くの高校生に疑似体験してもらい、その上でオープンキャンパスで実体験をすることでファンを獲得。先生方の言葉も動画配信できるといいですね。

・学生募集活動は、各県・地域のどのレベルに対して活動の基準を合わせるか？中堅・中の上・中の下・下層など。又は、20～25年前の卒業生の出身高から息子・娘など2世が入学するケースも多いので、アプローチしやすいと思う。これで一定の成果が出せるのでは？高速バスの発着地域での募集など。7-46、7-47に十分に行われている。

・今回のコロナ渦により、新しい募集活動を強いられるようになりましたが、更なる工夫で円滑に進めて下さい。

- ・新宿バスタ、高速バスの利用者が多いので、経路内の地域や終着駅を求人募集の先にして活動するのも良いかと思えます。
- ・ホームページは一層の充実が必要。
- ・オンライン・SNS・オープンキャンパスと多岐に渡り取り組んでいることは承知。学納金についても考慮されているし、出資者の両親にも優しくなっていると思う。
- ・コロナ禍に関わらず、増々オンラインによる募集活動の比重が高くなる傾向であり、動画コンテンツの充実はタイムリーな対策です。
- ・7-47は外部者の私には大変さが推測できない。

基準 8 財務

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・監査のほかに年2回の審査を設けると良い。
- ・問題無し。
- ・十分な取り組みで安定した状態を築けている。
- ・財務はどこも大変かと存じます。
- ・決算報告通り適正に運営されています。

基準 9 法令等の遵守

総合評価結果 ④	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・運営委員会にて、自己点検のリスクを発表して議題にしてみたら良いと思います。
- ・適切に対応されています。
- ・法令や基準に対して適正な運営は出来ていると思う。9-54は劇的な成果を出すためではなく、少しずつ改善されることが多いので、取り組みはしっかり出来ている。
- ・自己点検の公開はセキュリティしっかりと。
- ・自己点検を行い自主的に改善されている問題点は常に修正し上書きされていると思う。

基準 10 社会貢献

総合評価結果 ③	適切	3人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学生の自主的なボランティアを募ってみたら良い。
- ・地域社会に貢献されています。
- ・貢献活動は十分に行っていて、学生とのコミュニケーションの源になるので、災害時にも支援態勢が取れると素晴らしい。
- ・高齢化社会に置けるボランティア活動はこれから増々必要とされるでしょう。
- ・ボランティア活動に対して今年は大変でしたね。
- ・コロナになって出来る、出来ないの住み分けが難しい。地域貢献は毎年行われているので学生にも分かりやすく良いと思います。
- ・東京アカデミー（NHDK 運営）に講習会場として施設を提供していただき、感謝いたします。

基準 11 国際交流

総合評価結果 ③	適切	3 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・学園に委ね頑張って下さい。
- ・就労の法整備を前提に準備が必要になるでしょう。
- ・近年こちらからというよりも、海外から出向いて来て交流を図るケースも出て来ていることを耳にします。言葉の壁が一番難しい。
- ・外国人労働者の受け入れ態勢の法整備が先決でしょうが、教育対象者を世界に広げることも視野に入れておく必要性を感じます。
- ・出来て居ると思うが、言葉の壁があるとおもいます。その為の専属の通訳は雇えてないですね。
- ・社会的に留学生の就労受入れ態勢が整うか、見定める必要があるでしょう。

総合評価（各委員のコメント）

大平 正司 委員

全般に学園としては非常に良いと思いますが、第一に生徒の入学の増加、第二に退学の低下、第三に利益の向上（健全な）。オープンキャンパスの増大により来園が多いとのこと。入学までの道を実際に増やすカリキュラムも欲しい（示してほしい）。次年度に向け互いに頑張りましょう。

企業が求めるより実践的かつ効率の良い教育環境をつくる活動を支援したいと思っています。

特にシャンプーは必須になると思います。

コロナ禍すべてに大変な御苦労かと存じますが、業界の為にと頑張ってください。事態の変化に合わせてすべてが変化の年、サブスクや他の方法も考える。シラバスの作成と実施もなかなか思い通りにはならないと思いますが、頑張っていると存じます。

五十嵐 義昭 委員

多岐にわたりテーマを作り、問題解決に向けて手段を講じ、より良い教育環境を整えようと努力しております。

十分なコロナ対策の上で、生徒募集が円滑に進むようご配慮下さい。

コロナ禍及び18歳年齢減少と社会環境の急激に変化に遅れないように対応し、今後の発展に繋げて下さい。

坂本 輝雄 委員

理美容学校ではあるが、理美容業界以外の業界の動きなども、

現在の学生伝える取組みも大変有意義なものになると考えます。今後の学園に期待いたします。

なかなか大変な時世となりましたが、新しいクラス運営や生徒の獲得に努力が見られました。

当方も企業（店舗）の学校への指導の協力は惜しみなく致します。何なりと申し付け下さい。

学生募集の件では、今一度沿線に注目し中央線・西武新宿線をメインに総武線・東西線の高校に足を運んでみてはどうか？この時期に新たなチャンスがあるのではないかと考えています。

Ⅲ 学校関係者評価委員会議事録

令和3年10月8日

令和3年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 令和3年10月8日(木) 15:00~17:00
2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4階会議室
3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
大平 正司	理容室 ZANGIRI	代表取締役
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
船木 美弥子	卒業生保護者	

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
窪田 崇	事務長
杉本 邦夫	学生課課長
小笠原 努	理容学科長
斉藤 昌利	教員
入口 栄子	テクニカルスタイリスト科学科長
佐々木 久仁江	美容学科長

4. 進行状況

- (1) 開会（挨拶、配布資料確認） 15:00
- (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） 15:00~15:05
- (3) 理事長・校長挨拶 15:05~15:10
- (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 15:10~16:15
 - ①重点的取り組み項目（評価判定）
 - ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定）

- ③学校運営（評価判定）
- ④教育活動（評価判定）
- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 15

(6) 閉会 16 : 30

令和4年3月28日

令和3年度 第2回
学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 令和4年3月30日(水) 15:00~17:00

2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4階会議室

3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
大平正司	理容室 ZANGIRI	代表取締役
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
船木 美弥子	卒業生保護者	

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
齊藤 昌利	教員
小笠原 努	理容学科長
佐々木 久仁江	美容学科長
窪田 崇	事務長

4. 進行状況

- | | |
|------------------------------|-------------|
| (1) 開会 (挨拶、配布資料確認) | 15:00 |
| (2) 出席者紹介 (評価委員、窪田学園教職員) | 15:00~15:10 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 15:10~15:20 |
| (4) 第1回の学校関係者評価報告書を受けての取組み説明 | 15:25~16:15 |
| ①重点的取組み項目 (評価判定) | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等 (評価判定) | |
| ③学校運営 (評価判定) | |
| ④教育活動 (評価判定) | |
| ⑤教育成果 (評価判定) | |
| ⑥学生支援 (評価判定) | |

- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 20

(6) 閉会 17 : 00